

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	防災教育推進事業			事業番号	13-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部危機管理担当	高梨 芳房	危機管理課	高梨 芳房	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	4	災害に強い安全なまちづくり	
		施策展開の方向	1	災害から市民の命を守るまちをつくる	
		施策	13	みんなで取り組む地域防災力の強化	
予算事業名	自主防災活動育成事業				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	義務づけ規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	災害対策基本法、大規模地震対策特措法 ほか				
国・県の計画等	防災基本計画、県地域防災計画 ほか			計画期間	
関連個別計画	市地域防災計画			計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	本市は、東海地震に係る地震防災対策強化地域、南海トラフ地震防災対策推進地域、首都直下型地震緊急対策区域にそれぞれ指定されており、これらの地震が発生した場合、市域に甚大な被害が発生するおそれがあります。過去の震災の教訓からも災害応急・復旧対策においては、地域の防災活動が重要であり、地域防災力を向上するための取組を推進する必要があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	災害時に自らの身を自らで守れるよう子どもの防災力を育むとともに、男女双方の視点を取り入れた防災活動が行えるよう女性を対象とした防災研修会等の開催を行います。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民、児童・生徒				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域で女性を対象とした防災セミナーを実施します。</li> <li>小中学生を対象に年間を通じた子ども防災教室を実施します。</li> <li>総合防災ガイドブックの普及啓発に向けた活動を推進します。</li> </ul>				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	防災セミナー	継続実施	継続実施		
	子ども防災教室	継続実施	継続実施		
総合防災ガイドブック	普及啓発	普及啓発			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	防災セミナーの開催数	2回	3回	4回	



事業実施 (Do) へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	消防署の協力を得て、小・中学校の避難訓練に合わせて、防災教育を実施します。			
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>	
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>	
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>	
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>		
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>	
	防災セミナー	継続実施	継続実施	
	子ども防災教室	継続実施	継続実施	
	総合防災ガイドブック	普及啓発	普及啓発	
<b>実施した取組の内容</b>	総合防災ガイドブックを活用した防災セミナーを5回実施したほか、学校や企業、団体を対象に8回防災講話を実施しました。そのほか子ども防災教室を1回実施しました。市内小・中学校で避難訓練を実施した際に、防災教育を行いました。			
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>	
			<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	防災セミナーの開催数	2回	3回	5回

年度		28年度 実績				29年度 実績			
内訳	<b>事業費合計 (a)</b>	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	国県支出金 ①	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	地方債 ②	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源 (a)-①-②-③	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
<b>国県支出金の内容</b>									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.03	人	260	千円	0.03	人	262	千円
	その他の職員	0.01	人	24	千円	0.01	人	24	千円
	人件費合計 (b)	0.04	人	284	千円	0.04	人	286	千円
トータルコスト (a)+(b)		284	千円	286	千円				
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民		単位	
	対象数	対象数	101,635	人	102,037	人			
	総事業費／対象数	総事業費／対象数	3	円	3	円			

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
<b>進捗状況</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	学校や企業、団体等に対して、地域防災計画に係る各種災害や防災対策について「総合防災ガイドブック」を活用し、説明、「自助」「共助」の必要性について、理解を深め、防災教育の推進が図られました。
<b>実施水準</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市事業内容等	県央地区の協議会等における情報交換では、近隣市でも同水準の実施状況でした。
<b>有効性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	市民一人ひとりの防災意識の向上を図るためには、防災教育を継続して実施する必要があります。防災セミナー参加者の声では、「参加してよかった」との意見が多い。
<b>効率性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	学校や企業、団体等に対して、様々な機会を通じて、防災講話や応急救護措置などの実践訓練を通じて、防災知識や意識啓発を効率的に取り組むことができました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
<b>事業推進上の課題</b>	更なる意識啓発を推進するためには、学校、企業、団体等との連携を図り、様々な機会を捉えて、事業展開を図る必要があります。また、防災対策の実態把握を行うための意識調査を行い、結果分析し、施策に反映をしていく必要があります。
<b>次年度以降の取組の方向性</b>	引き続き、様々な機会を捉えて、防災教育の推進を図ってまいります。参加者へのアンケート調査を実施し、施策に反映してまいります。特に、男女双方の視点で、防災対策を推進していく必要があるため、女性の意見を反映させる仕組みづくりを行ってまいります。
<b>所管部長による総評</b>	引き続き、防災教育の推進、充実を図る必要があります。特に、女性の視点を防災対策に反映するため、女性防災リーダーの養成は、喫緊の課題です。人材を発掘し、研修会や勉強会を通じて、組織づくりを行ってまいります。